

第2次胎内市環境基本計画の策定にあたって

胎内市は、壮大な飯豊連峰、母なる川として市民に親しまれる胎内川、美しい海岸線といった豊かな自然環境を有しています。こうした、私たちが享受している自然の恵みは、将来の胎内市を担う世代にも継承していかなければなりません。

しかしながら、現在、地球温暖化や生物多様性の消失傾向、マイクロプラスチックによる海洋汚染などの地球規模の環境問題から、中小河川等の水質汚濁やごみのポイ捨て・不法投棄などの生活環境の問題まで幅広い問題に直面しています。

このような状況に鑑み、引き続き豊かな自然環境を保全するとともに、洋上風力発電などの再生可能エネルギーの推進による脱炭素社会の形成、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献などを通じて、住み良い地域づくりを行っていかねばなりません。

このような背景を踏まえて、前計画から望ましい環境として「未来へ繋ぐこの奇跡—よどみない美しい環境を守り、ともに育てていくまち「胎内」」を継承した「第2次胎内市環境基本計画」を策定しました。

計画の着実な推進のためには、一人ひとりが環境問題を自らの問題として認識し、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら、協働して環境課題に取り組むことが重要です。次世代に豊かな環境を継承するためにもご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定に携わっていただきました環境審議会の皆様をはじめ、意識調査やパブリックコメントに貴重なご意見・ご提言をお寄せいただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。



2021年3月

胎内市長 井畑明彦